



2019年度 第1回自然学習講座

クビアカツヤカミキリ 被害の現状と対策



クビアカツヤカミキリ
(大阪府立環境農林水産総合研究所提供)



被害に遭った木の様子
(大阪府立環境農林水産総合研究所提供)

クビアカツヤカミキリは、体長3cm程度の東アジア原産の昆虫です。幼虫はサクラやウメ、モモなどのバラ科植物の幹に巣食い、木を枯らす恐れがあります。近年になって愛知や埼玉で見つかり、その後年々分布を広げて、大阪府下では2015年に初めて確認されました。2018年には国の特定外来生物に指定されております。

早期に発見し未然に被害を防ぐため、生態や被害状況、駆除対策などを学びましょう。

- ◆日時：2019年6月27日（木）
14:00~16:00
- ◆場所：豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター
(阪急曽根駅下車、北へ徒歩約5分)
- ◆講師：金子 修治さん
(大阪府立環境農林水産総合研究所
食と農の研究部 防除グループ 主任研究員)
- ◆参加費：無料
- ◆定員：40人
- ◆申込み：6月25日（火）までにアジェンダ21へ
- ◆連絡先：06-6844-8611 (eMIRAIE 環境交流センター内)
- ◆その他：定員に余裕があれば当日会場でも受付します。
保育はありません。公共交通機関をご利用ください。



主催 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21自然部会
(この事業は環境交流センター指定管理事業として実施します)